

五日市観音は

佐伯区の西部にそびえる極楽寺山の南東部裾野に開けた地区です。明治22(1889)年6か村(倉重、千同、坪井、三宅、屋代、佐方)が合併し、極楽寺のご本尊「千手観音様」の名から観音村と名づけられました。

縄文の昔から人々が住み、貝塚、古墳、寺、神社、山城跡などが残っています。古代の官道「かげともの道」(古代山陽道)が通り、旅人が往来した地でもあります。

山裾で大きな川に恵まれない観音村の人々は、棚田を造り、水不足に悩みながら稲作をしてきました。雨乞いをし、ため池を造り、水とあらがいながら知恵を働かせ協力して生きてきました。

私たちの祖先のいとなみが見える足跡を訪ね、人々の暮らしの知恵や息づかいに触れていただきたいと思います。

坪井公民館郷土史学習グループ
「かんのん村探検隊」

メインルート <周回ルート>

坪井公民館を起点として無理なく「旧かんのん村探検」ができるウォーキングコース(1周約4.4km)として設定しました。

